

また会える (1)

本願寺出版社が発行している「伝道」という冊子にシリーズ「被災地現場からの学び」というコーナーがあります。

そこに東日本大震災で我が子と別れられた竹澤さおりさんがご自分の思いを寄稿されていました。

とても素晴らしいお話でしたので、今月から転載させていただきます。

長い文章ですが、省略するとご本人がお伝えになりたい思いが伝わりませんので全文を数回に分けて紹介します。

できれば全文の紹介が終わった後、あらためて全文を続けてお読みいただければと思います。

また会える

竹澤さおり

東日本大震災から七年を過

ぎようとしています。自分なりの言葉で今一番残しておきたい思いをお伝えできたらと思います。

“永遠の別れ”

二〇一一年三月十一日の朝。

いつものように私の母が息子の雅人を迎えに来ました。雅人はまだ生後七カ月でした。

「会社まで送ろうか？その方が雅人と長くいられるでしょ」と言ってくれた母に私は、「最近お母さん体調悪いんだからいいよ」と言いました。

チャイルドシートに乗っている雅人を見て、こっち向いてちゃんと顔見せて：これが最後とかになったら嫌じゃ

ん：そんなこと思いながら別れました。そしてこれが永遠の別れになりました。

仕事中に大地震に見舞われ、両親に何度も電話をしてもつながらない中、母からメールが届きました。

「雅人は大丈夫さおりは」これが母からの最後の言葉となりました。

当時、宮城県名取市では、大津波を知らせる役目の防災行政無線が故障して鳴らず、さらに名取市は災害時のマニユアル通りの避難広報もしなかつたため、名取市閉上地区に住

んでいた両親と祖母、預けていた雅人は大津波が来ることを知ることができずに逃げ遅れてしまい、犠牲となりました。父の喜佐雄は、約一週間後に遺体安置所で見つかり、

祖母のろくは秋ごろにDNAの照合で遺骨としてですが引き取ることができました。しかし、いまだに母すみ子と、息子の雅人は行方不明のままです。

あの日からもうすぐ七年。流れる月日も癒せない最愛の息子を亡くした悲しみや、悔しさなど、様々な思いを抱えて過ごすなかで、雅人から繋

がるたくさんのご縁にさええられて生きてきました。そして、そのご縁がきっかけで大きく変わった気持ちがあります。両親・祖母・雅人の四人と、あの日に「永遠の別れ」を迎えたと思っていたことが「また会える」と思えるようになったことです。

浄土真宗との縁

私の両親は他宗ですが、主人の実家は浄土真宗でした。

主人は大阪出身なのですが、結婚後こちらに引っ越したため、浄土真宗のお寺とまだご縁がありませんでした。そのため主人は浄土真宗の質問サ

イトに、(行方不明のままの雅人の葬儀をもし行うとしたらどのようにすればいいのか)等と問い合わせたところ、本願寺仙台別院を紹介してもら

い、そこでボランティアセンターの活動のために、当時、京都・宗務所から来られていた職員の農さんにお会いしました。(次号につづく)

法語の世界

《原文》

順誓申され候ふ。仏法の物語申すに、かげにて申し候ふ段は、なにとるわろきことをか申すべきと存じ、脇より汗たりまうし候ふ。前々住上人(蓮如)聞し召すところにて申す時は、わろきことをばやがて御なほしあるべきと存じ候ふあひだ、心安く存じ候ひて、物をも申され候ふよしに候ふ。

(「蓮如上人御一代記開書」 二百十八)

《現代語訳》

順誓が申されるには、「人々にご法義の話をするのに、蓮如上人がおられないところで話すときは、何か間違ったことをいはいはしないだろうか」と気になって、脇の下から冷汗の出る思いがする。反対に、上人がお聞きになつていて話すときは、間違ったことをいって、すぐに直していただけると思つたので、安心して話すことができる」ということでした。

高千穂組仏教女性の集いのお知らせ

とき 五月十九日(土) 午前九時三十分開会
ところ 高千穂町岩戸 泉福寺
講師 浄土真宗本願寺派布教使 佐賀教区最勝寺住職

田中 信勝 師

その他 金光寺から十五人参加できます。現在六人の参加が決まっています。参加希望の方は四月十八日までに金光寺へお申込み下さい。なお参加費千五百円必要です。

初盆会について

本年の初盆会について、お斎の予定をお立ての際は早目にご連絡ください。例年に比べると本年は初盆をお迎えになるお宅が多そうです。受付順に日時を決めます。下記の日時はすでに予定が決まっています。

記		
8月13日		
8:00	9:00	10:00
11:00	12:00	13:00
14:00	15:00	16:00
17:00	18:00	
8月14日		
8:00	9:00	10:00
11:00	12:00	13:00
14:00	16:00	
8月15日		

宮崎市にて初盆のため対応できません